

7月5日(水曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

北朝鮮リスク再び

4日(火)の為替相場



期間：4日(火)午前6時10分～5日(水)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 北朝鮮がミサイルを発射。これに反応して日経平均が伸び悩む中、円がやや買われた。
- ② 豪5月小売売上高が前月比+0.6%と予想(+0.2%)を大きく上回った。これを受けて豪ドル/円は一時86.971円まで上昇した。
- ③ 豪準備銀行(RBA)は市場予想通り政策金利の据え置き(1.50%)を決定。一部で欧州や英国などに続くタカ派的声明への期待がかかる中、声明文は「豪ドル高が経済的な調整を複雑化する」「賃金の伸びは依然として低迷しており、これはしばらくの間続くものと思われる」「賃料の伸びは20年間で最も鈍い」など、前月とあまり変わらなかった。これを受け、失望感から豪ドル売りが強まった。
- ④ 「北朝鮮が大陸間弾道ミサイル(ICBM)の発射実験に成功」との報道を受け、東アジアを中心とした地政学的リスクが意識される中、円買いが強まった。
- ⑤ 英6月建設業PMIは54.8と予想(55.0)をわずかに下回った。
- ⑥ 欧州連合(EU)は、イタリアの大手銀行モンテ・パスキの再建計画(伊政府から54億ユーロの資金注入を受ける一方、事業モデルの転換や、効率性と信用リスク管理の改善に力を入れる)を承認した。

4日(火)の株・債券・商品市場

外為注文情報(ドル/円)

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
20032.35 (▼23.45)	5783.818 (△99.332)	3182.804 (▼13.108)	7357.23 (▼19.86)	12437.13 (▼38.18)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
休場	0.0810% (▼0.0050)	2.622% (▼0.046%)	1.247% (▼0.017)	0.475% (▼0.001)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
休場	休場	休場	休場	

Sell	Rate	Buy
	113.55	
	113.50	
	113.45	
	113.40	
	113.35	
	113.30	
	113.25	
	113.20	
	113.15	
	113.10	
	113.05	
	113.00	
	112.95	
	112.90	
	112.85	
	112.80	
	112.75	
	112.70	
	112.65	
	112.60	
	112.55	

本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	112.300-113.500	127.000-128.900	85.100-86.500	144.800-146.900

【ドル/円】

昨日のドル/円は、北朝鮮が大陸間弾道ミサイル(ICBM)の発射実験に成功と発表した事を受けて112.70円台まで下落したが、程なく113円台に持ち直すなど底堅さが光った。ただ、今朝方に北朝鮮の金委員長が米独立記念日のICBM発射について「米国は不満に違いない」などと述べたほか、ティラーソン米務長官が「北朝鮮のICBM発射は、米国と同盟国への脅威の新たな高まりを示す」との見解を示した事が伝わると一時113円台を割り込むなど、北朝鮮リスクに対して不安定な値動きが続いている。北朝鮮問題はドル/円相場のトレンド形成に大きく影響しないと見るが、この問題がくすぶる中では円売りの動きを期待しにくいのも事実だろう。NYタイム終盤に発表される米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録がドルを押し上げない事には、目先のドル/円が113円台半ばを越えて大きく上昇するシナリオは描きにくい。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/5(水)	17:30	○	(英) 6月サービス業PMI	53.8	53.5
	18:00		(ユーロ圏) 5月小売売上高(前月比)	+0.1%	+0.4%
	23:00		(米) 5月製造業受注指数(前月比)	-0.2%	-0.5%
	27:00	○	(米) FOMC議事録(6月13・14日分)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。